

ゆ〜BASEでの過ごし方を覗いてみよう

観光+ワークの長期滞在者の一日

- 朝** 美しい庭を眺めながらコーヒー一杯。メールをチェックしながら、旅先でも「いつもの朝」がはじまります。
 - 昼** ひと仕事終わったら、商店街へ。顔なじみになったお店で昼食をとり、午後はコワーキングスペースで、また静かに作業。
 - 夕方** 横丁で開かれるワークショップやお店をのぞいてみる。思いがけず出会い、草津の人や文化。
 - 夜** 温泉で一日の疲れを癒しつつ、町民との会話が生まれ、おすすめスポットやグルメを教えてください。
- 予定を詰め込まなくても、町のリズムに身をゆだねると、滞在は少しずつ、自分の心地よい形にずれていきます。

町民の使い方

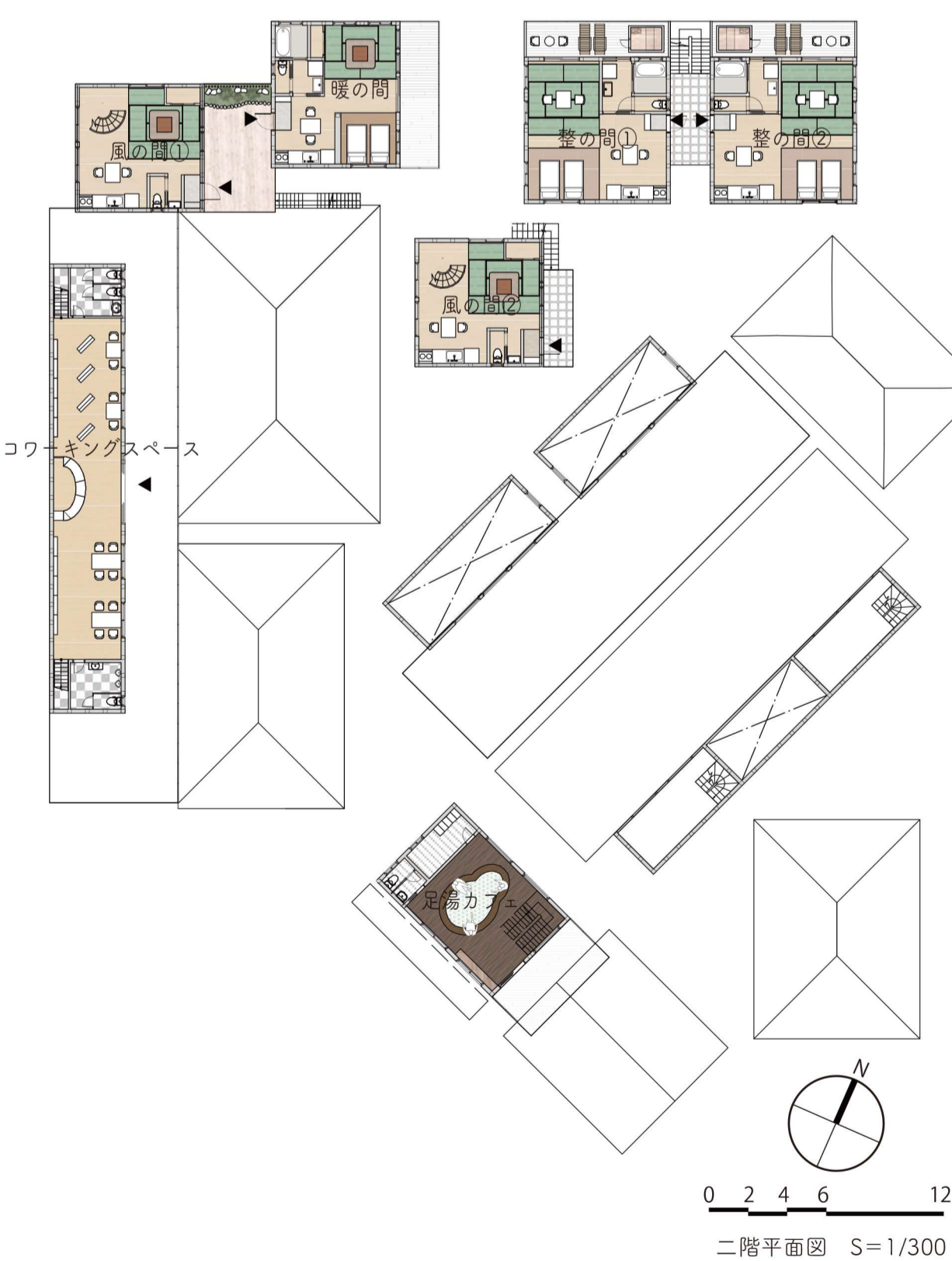
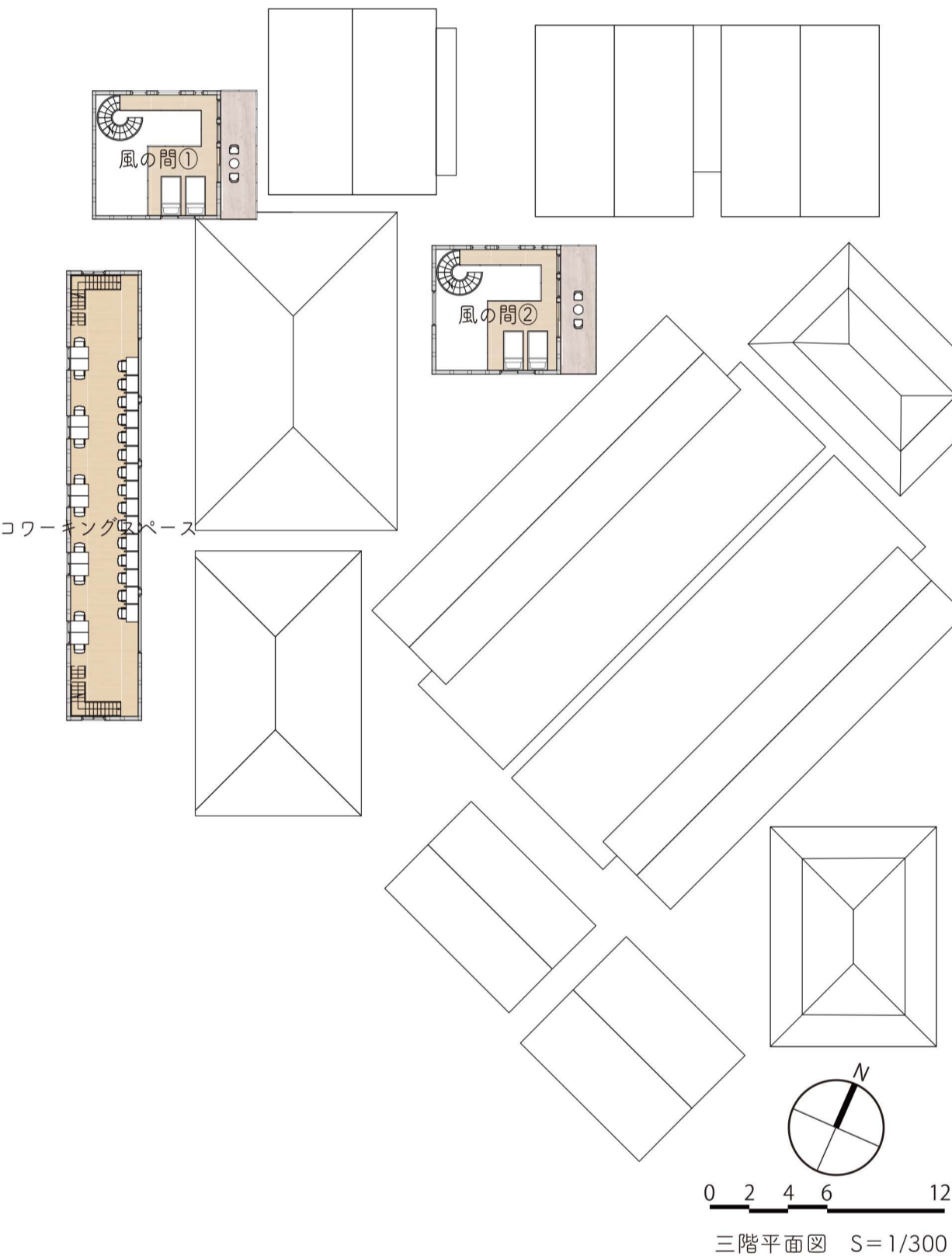
- ・仕事帰りに、足湯カフェでひと息
- ・週末は、イベントや市をふらりと楽しむ
- ・子ども連れでも安心して過ごせる屋外スペース
- ・観光客との、つくりすぎない自然な交流
- ・温泉でリフレッシュ。

ゆ〜BASEは、観光と日常、内と外をゆるやかにつなぐ、「町の暮らしに寄り添う」開かれた居場所です。

観光客の使い方

- ・草津温泉バスターミナルに着いたら、足湯カフェが気になり、自然と足はゆ〜BASEへ。
- ・町民が開くワークショップに参加。ゆけむり横丁で食べ歩き。
- ・帰りのバスまでの少しの時間。写真を見返したり、おみやげを買ったり。

観光地を「回る」だけでなく、町に一度、腰を下ろしてみる。そんな草津の入り口として、ゆ〜BASEがあります。



景色のいいコワーキングスペース

遠くの山々の景色を眺めながら作業できる、開放感あるワークスペース。仕事はもちろん、漫画や雑誌を読んでいるり過ごすのもOK。「働く」と「くつろぐ」が自然に共存する空間です。



寝湯・打たせ湯・サウナのある温泉

ゆ〜BASEの温泉は、ただ浸かるだけじゃありません。寝湯でゆったり、打たせ湯でリフレッシュ、サウナで整う。その日の気分や体調に合わせて楽しめる、満足度の高い温泉です。

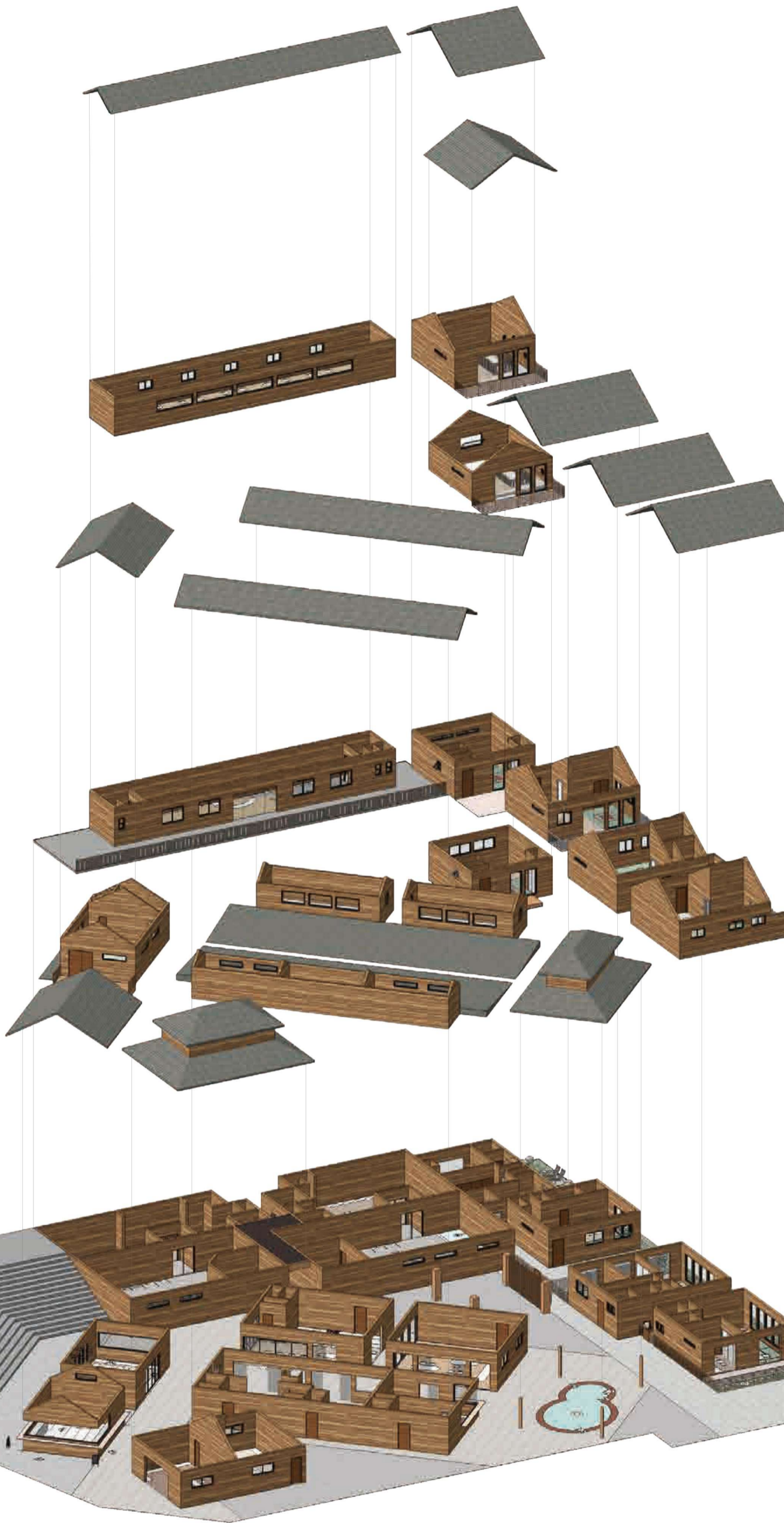
ゆ〜BASEの空間構成について

ゆ〜BASEは、建物同士の距離が近く、少し狭めの路地空間を基調に構成されています。路地の奥には、次の建物や別の居場所が見えるよう計画し、「もう少し先へ進んでみたくなる」奥行きのある風景をつくりました。

視線の先に人の気配や灯りが感じられることで、訪れた人は自然と建物の奥へ、敷地の中へと引き込まれていきます。

それぞれの施設は独立しながらも、路地によって緩やかにつながり、歩かたびに違う表情が現れる回遊性のある構成です。

通り抜けるだけでも楽しく、立ち止まることで居場所が見つかる。ゆ〜BASE全体を、ひとつの「町のような空間」として体験できるよう設計されています。



流れゆく時間に身を委ね、湯けむりと、町の気配がゆるやかに交わる場所で過ごすひととき。ゆ〜BASEの全9室は、草津の時間を、ゆっくり味わうための宿です。

湯時亭 Yudoki-tei
~5つのコンセプト~

- 1. 湯の間（露天風呂付）： 2人〜4人
- 2. 整の間（サウナ付）： 2人〜4人
- 3. 囲の間（囲炉裏付）： 2人〜6人
- 4. 暖の間（コタツ付）： 2人〜4人
- 5. 癒の間（メゾネット空間）： 2人〜4人

湯けむり横丁

和食にお土産、温泉まんじゅう、BARまでそろった賑やかなエリア。食べ歩きや一杯はもちろん、ワークショップなどのイベントも開催。湯けむりに包まれながら、草津を楽しめる横丁です。

外の路面と店内の床をあえてつなげ、外と中の境界を感じさせないつくりをしています。

さらに、店と店のあいだの壁をなくすことで、空間はゆるやかにつながり、歩いているだけで自然と回遊できる構成に。

おみやげを選んでいただくが、気づけば隣から漂う温泉饅頭の甘い香りに誘われてしまう——そんな「寄り道の楽しさ」も、この場所ならではの。



引き寄せる工夫

坂道に設けた階段は、さまざまな方向から訪れる人を自然と「ゆ〜BASE」へ引き寄せる「入口」のような存在。

上り下りするためのだけの動線ではなく、腰を下ろして休んだり、待ち合わせをしたりできるようにすることでちょっとした溜まり場に。



カフェ&二階の足湯

まず立ち寄りたいたのが、景色を楽しめるカフェ。ドリンクはテイクアウトもでき、テラスや館内で気軽にひと休みできます。二階には足湯もあり、湯に浸かりながら景色を眺める、ちょっと特別なカフェ時間を楽しめます。



湯けむり横丁の軒下空間

湯けむり横丁では、木造架構の庇を大きく伸ばし、その下にカウンターやベンチを配置しました。

店の中と外の境界をゆるやかにすることで、「入る」「出る」を意識せず、内と外、関係なく会話が生まれ、空間が繋がる。

料理やお酒を片手に、横丁の外まで人があふれ出し、食べたり、飲んだり、語らったり。

建物の内と外、人と人がつながり、時間帯ごとに違ったにぎわいが生まれる。

湯けむり横丁は、歩くだけでも楽しく、立ち止まるほどに居心地がよくなる、「町にひらかれた横丁」として設計されています。



ミニ湯畑

“ミニ湯畑”の愛称で親しまれる、大きな足湯。湯けむりを間近に感じながら誰でも気軽に温泉気分。待ち合わせや休憩にもぴったりな、にぎわいの中心です。



案内所

チェックインや案内を行う拠点でありながら、草津温泉の歴史や文化に触れられる展示スペースも併設。「まず知る」ことで、草津の旅がもっと面白くなる場所です。

温泉街の楽しい風景が
ゆ〜BASE内にもつづく

